

# 保護林設定について (宮崎県日南市 新村地区)

【資料4】

## 1 保護林設定の目的

地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的とする。

## 2 保護林の特徴（平成21年度森林基礎調査等業務報告書より）

- ・ 対象地域は標高226m～786mの斜面下部から斜面上部の森林が含まれる。
- ・ 林相は全体によく発達した暖温帯性の照葉樹林であり、イチイガシ、アカガシ、ウラジロガシなどのカシ類や、タブノキ、スタジイ、イスノキといった常緑広葉樹が高木層に優占する。
- ・ 四国と九州の限られた地域に分布し、環境省と宮崎県のレッドデータブックに記載されているハナガガシの生育が周辺地域で報告されている。
- ・ イズセンリョウなどの低木種、キジノオシダなどのシダ植物、ツチトリモチなどの寄生植物、つる植物、着生植物など、暖温帯林の構成種が数多く生育しており、植物相は多様である。
- ・ 周辺地域の東側約20kmに日南海岸国定公園があり、ビロウなどの亜熱帯性植物群落の分布の北限に近い地域でもある。

### 3 保護林の気候・地形・地質（平成21年度森林基礎調査等業務報告書より）

#### (1) 気候

- ・ 年間降水量：約2400mm（対象地域より北西約15kmに位置する都城特別地域気象観測所の過去10年間のデータより）
- ・ 年平均気温：約13～16℃（同観測所のデータより標高差を考慮して算出）年間を通じて温暖な気候である。降水量も比較的多く、特に夏から秋にかけては、台風の通過により大量の降雨が生じやすい。

#### (2) 地形

対象地域の大部分は切り立った岩場に囲まれ、林内でも急峻な斜面が多い。  
また、等高線の間隔が狭く深い沢が比較的多く見られる。

#### (3) 地質

- ・ 対象地域は日向層群(四万十累層群古第三系)に分類され、砂岩及び泥岩が地質を構成する。
- ・ 褐色森林土が全域を覆っている。



## 4 保護林設定（案）

### (1) 保護林区分

生物群集保護林

自然状態が十分保存された天然林を主体とした、地域固有の生物群集がまとまりを持って存在する区域であって、原則として300ヘクタール以上の規模を有するもの

### (2) 名称

新村照葉樹林生物群集保護林(仮称案)

### (3) 位置及び区域

宮崎県日南市酒谷甲 保護林設定区域（案）のとおりに

### (4) 面積

491.99ha 小班別面積内訳のとおりに

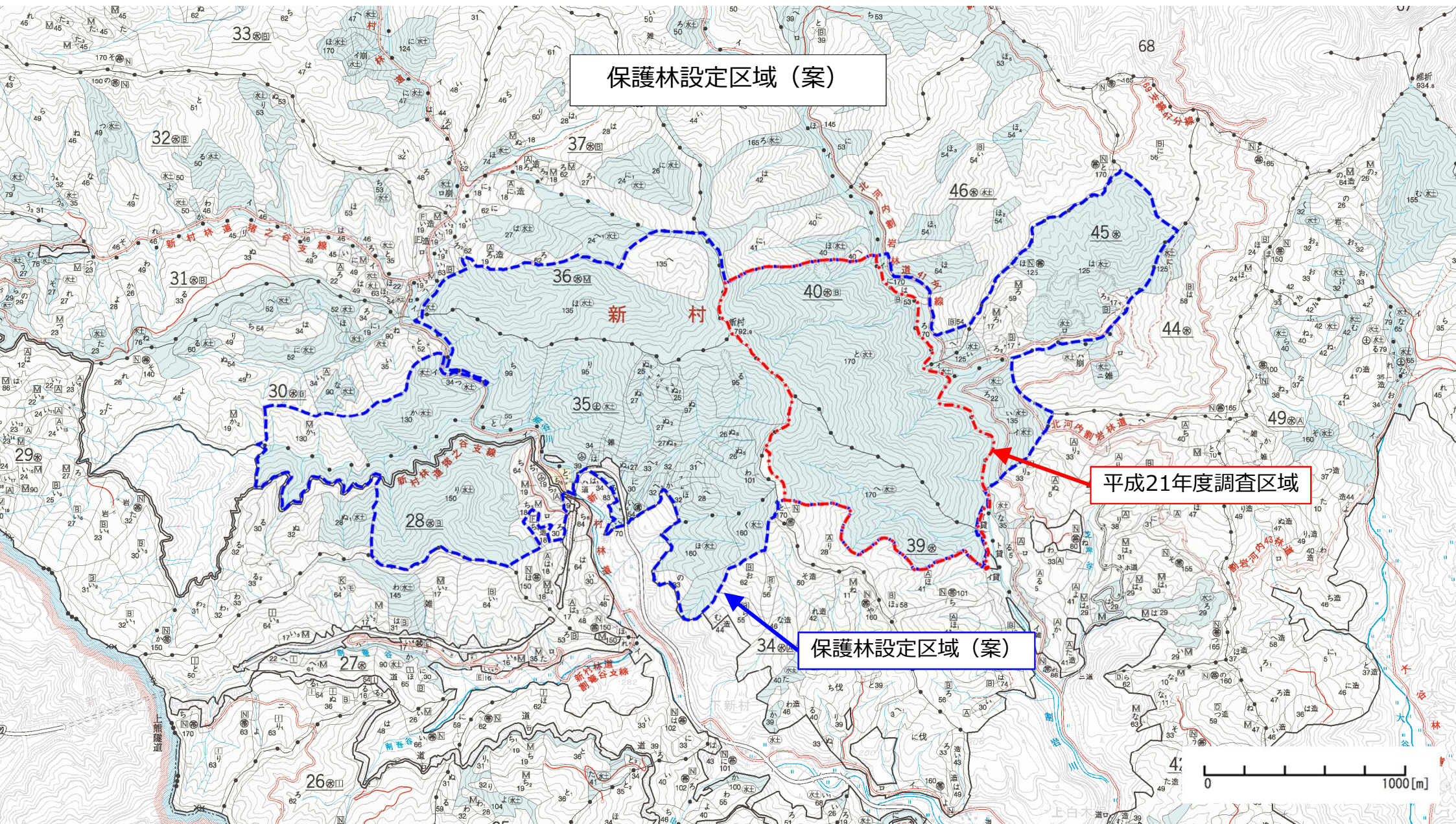


5 小班別面積

面積：h a、林令：令和2年3月現在

国有林名	林班	小班	人天別	樹種	面積	林令	国有林名	林班	小班	人天別	樹種	面積	林令
新村	28	ち	人	スギ	2.15	70	割岩河内	39	へ	天	広葉樹	41.52	176
		ち1	天	広葉樹	1.48	25		40	と	天	広葉樹	89.41	176
		ち3	天	広葉樹	3.00	24		44	い	天	広葉樹	15.24	141
		り	天	広葉樹	55.51	156			ろ	人	スギ	1.05	28
	30	か	天	広葉樹	16.67	136		に	天	広葉樹	4.08	131	
		か1	天	広葉樹	11.85	136		45	い	天	広葉樹	3.01	131
		つ	人	スギ	1.30	40			ろ	天	広葉樹	5.09	65
	34	ほ	天	広葉樹	8.39	166			ろ1	天	広葉樹	4.95	23
		の	人	スギ	1.84	39			ろ2	人	スギ	0.71	23
		く	天	広葉樹	8.52	166			ろ3	人	スギ	1.06	23
	35	い	人	スギ	1.07	60			は	天	広葉樹	39.36	131
		い1	天	広葉樹	0.45	76		ほ	天	広葉樹	0.73	131	
		ろ	天	広葉樹	0.30	89		46	ろ	天	広葉樹	3.25	176
		は	人	スギ	0.59	40			は	人	スギ	0.72	59
		は1	天	広葉樹	0.41	40		合計		491.99			
		に	人	スギ	1.19	36							
		ほ	人	スギ	1.38	38							
		へ	人	スギ	1.55	34							
		へ1	人	スギ	1.61	37							
		へ2	人	スギ	1.19	39							
	へ3	人	スギ	1.19	38								
	35	と	人	スギ	0.92	61	人天別	樹種	林令		面積		
		ち	天	広葉樹	18.73	105	人工林	スギ	21-40年生	19.90	24.76		
					26.51	101			41-60年生	1.79			
					22.59	103			61-80年生	3.07			
		ぬ	人	ヒノキ	2.23	33		ヒノキ	21-40年生	4.50	27.09		
					2.09	33			101-120年生	22.59			
		人工林計							51.85				
		35	天然林	広葉樹	21-40年生	14.73	20.57						
					61-80年生	5.54							
					81-100年生	0.30							
					101-120年生	60.00	419.57						
	121-140年生				75.70								
	141-160年生				132.78								
	161-180年生				151.09								
	天然林計							440.14					
	合計							491.99					
	36		ほ	天	広葉樹	52.50	141						
			へ	天	広葉樹	9.53	141						



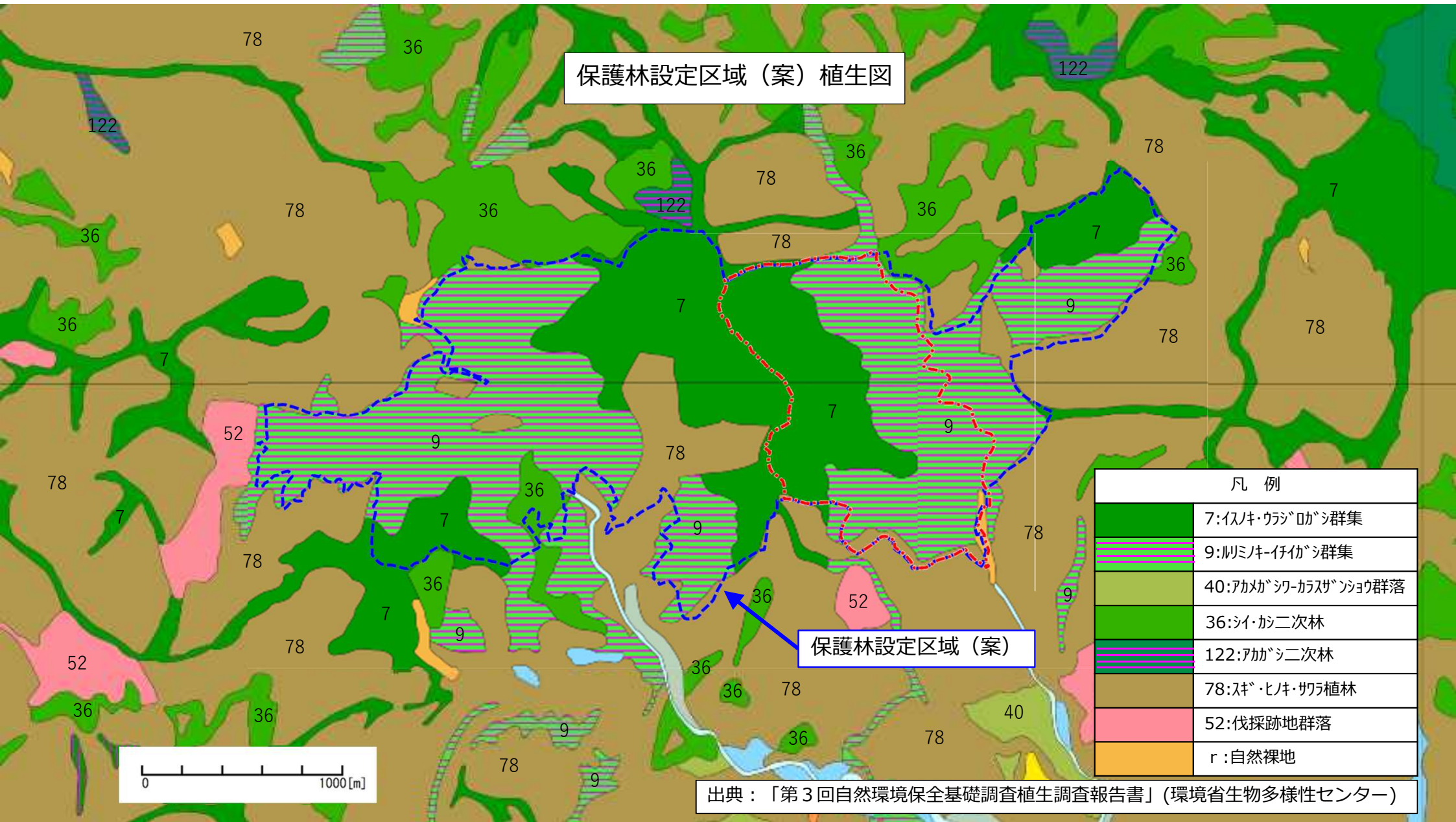


保護林設定区域 (案)

平成21年度調査区域

保護林設定区域 (案)





保護林設定区域（案）植生図

保護林設定区域（案）

凡 例	
	7:イヌナ・ウラジロカシ群集
	9:ルミキ-仔カシ群集
	40:カカシ-カサガシ群集
	36:シ-カ二次林
	122:カカシ二次林
	78:スギ・ヒノキ・カラ植林
	52:伐採跡地群落
	r:自然裸地

出典：「第3回自然環境保全基礎調査植生調査報告書」（環境省生物多様性センター）



